

徳島県小底漁船(北灘地区) 便乗調査

平成26年10月17日
底びき網漁具専門部会

水産総合研究センター
開発調査センター

徳島県播磨灘地区の概要

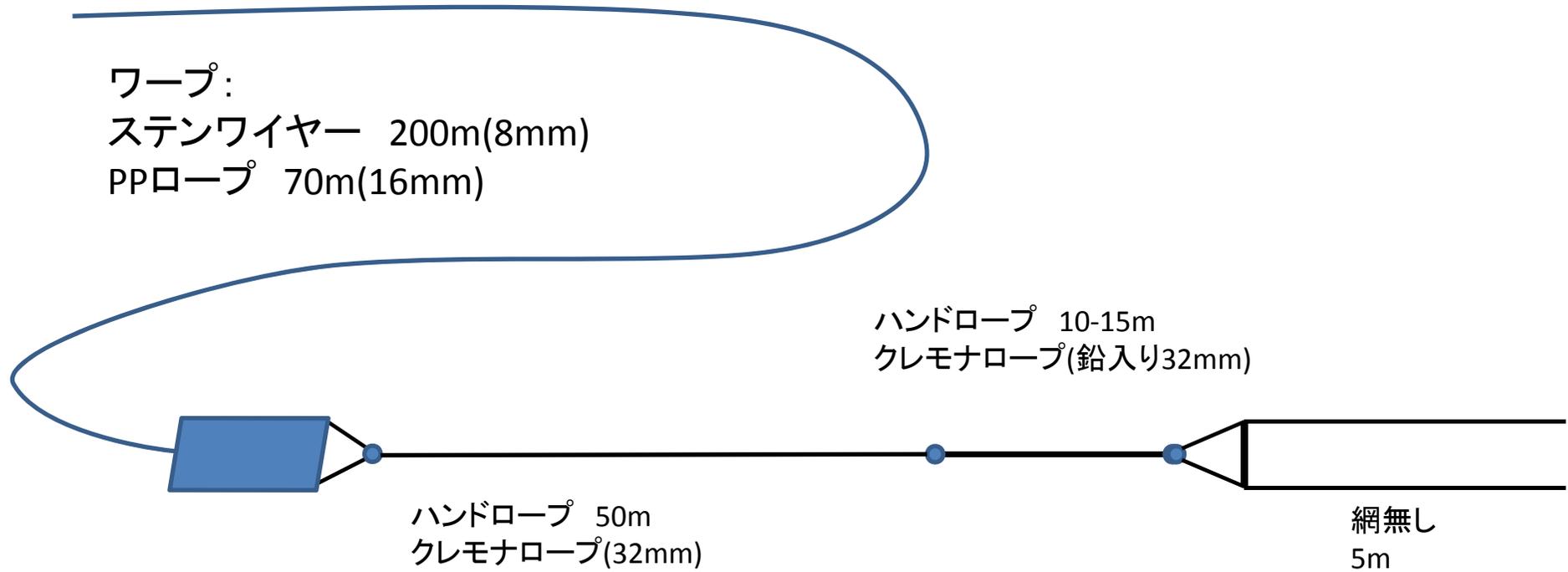
訪問地区：栗田漁港（鳴門市）

※ 操業の概要

- 2操業／日
- 板びき操業（漁期規制，開口板サイズ規制）
- 平板オッター（60cm × 120cm）使用
- コウモリ網と呼ばれる漁具を使用



漁具の構成



シリヤケイカの漁獲効率向上

- シリヤケイカ→中国向け，単価安定，選別楽
- コウモリ網の改良版(大きい)で漁獲したい
- 平板オッター → より大きな板が必要
- 隔網力の高い高揚力オッターボード(HLTD:
Hyper Lift Trawl Door)へ転換
- 現在の漁具性能の確認



調査の概要

- 便乗日：平成26年 10/8, 10/9
- 船名：住吉丸(5トン), 金比羅丸(5トン)
- 計測項目, 使用機器

1. 板間隔：漁網監視装置 (SIMRAD, PI50)



2. 網口高さ・網沈降速度：深度計 (nke, SP2T)



3. 両舷張力：牽引力記録器 (nke, SF5)



4. 船速：記録式GPS (JRC社製)

5. 水中映像：水中カメラ

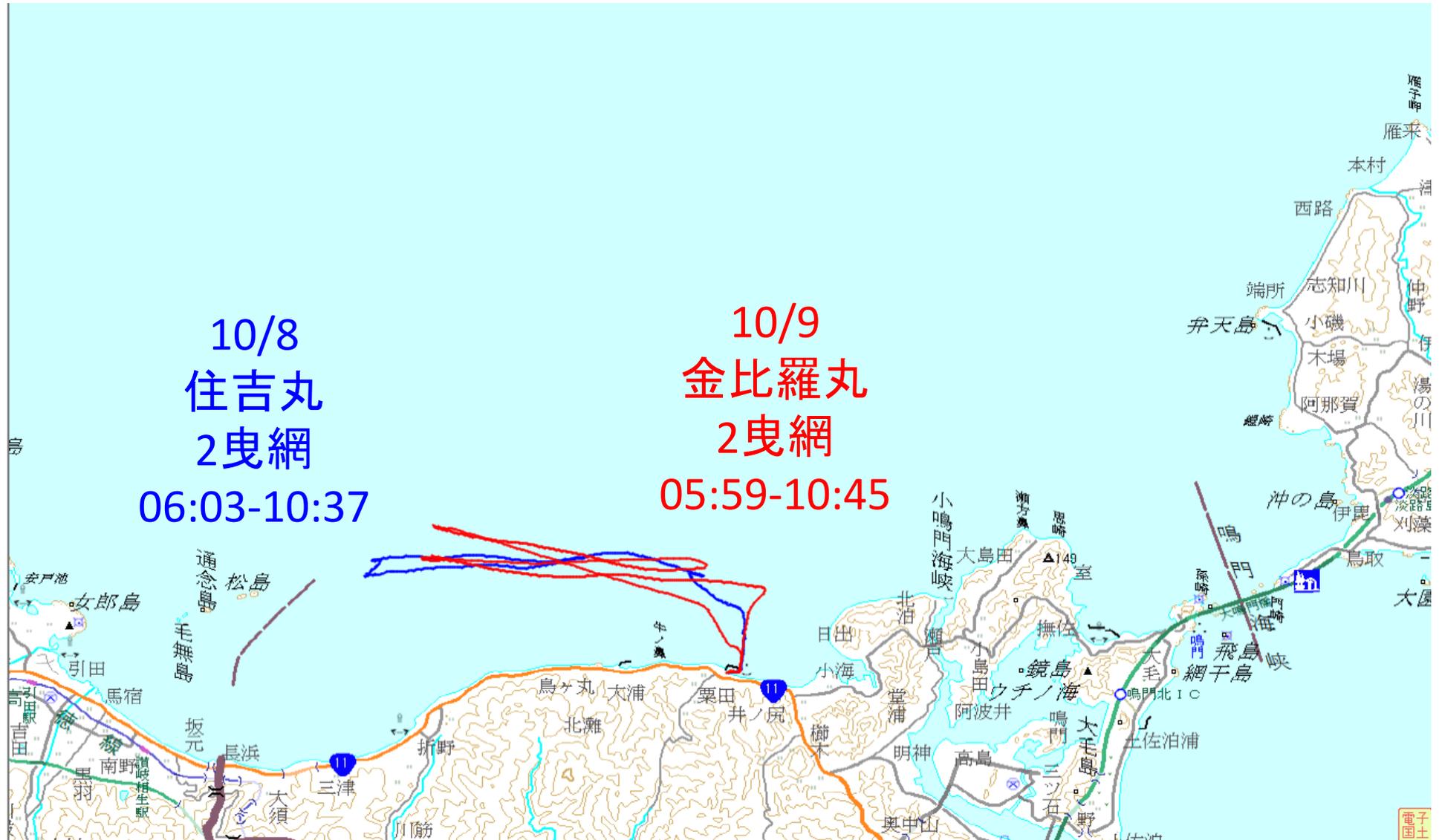
(JT Electric, TrawlCamera)



Ultra Low Lux

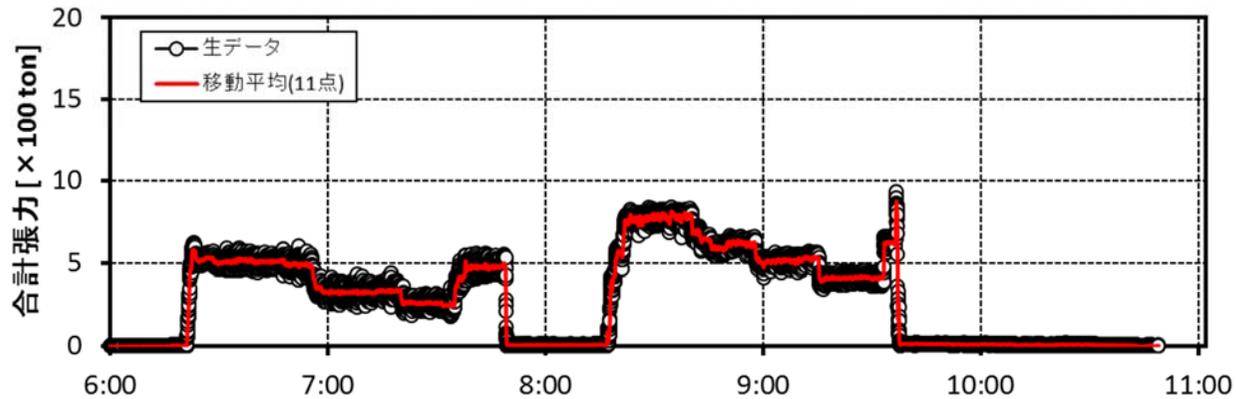
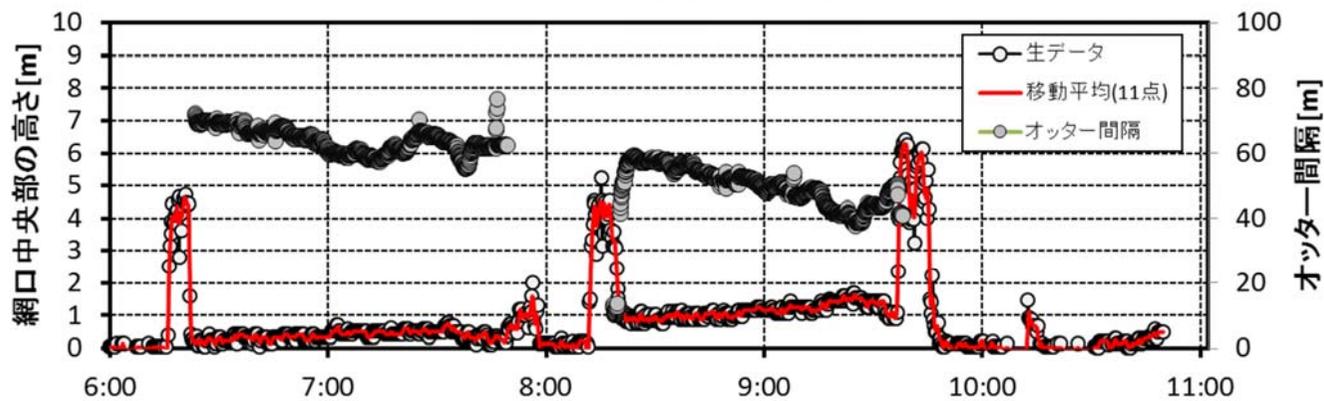
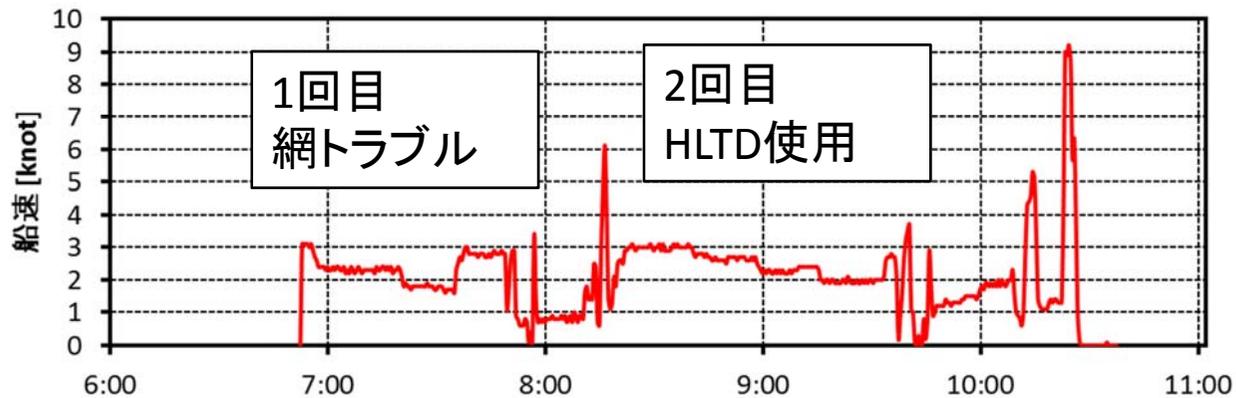
10/8
住吉丸
2隻網
06:03-10:37

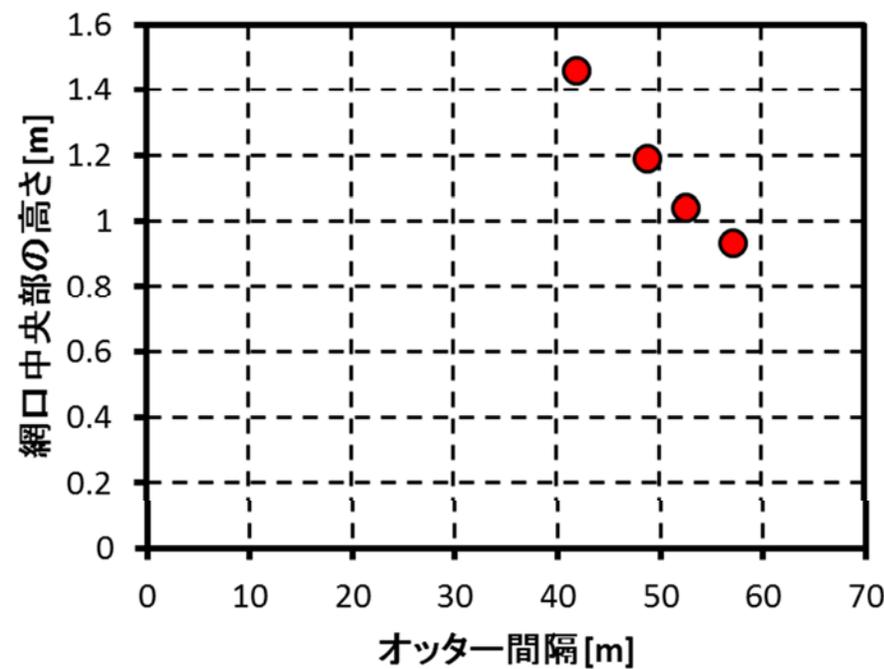
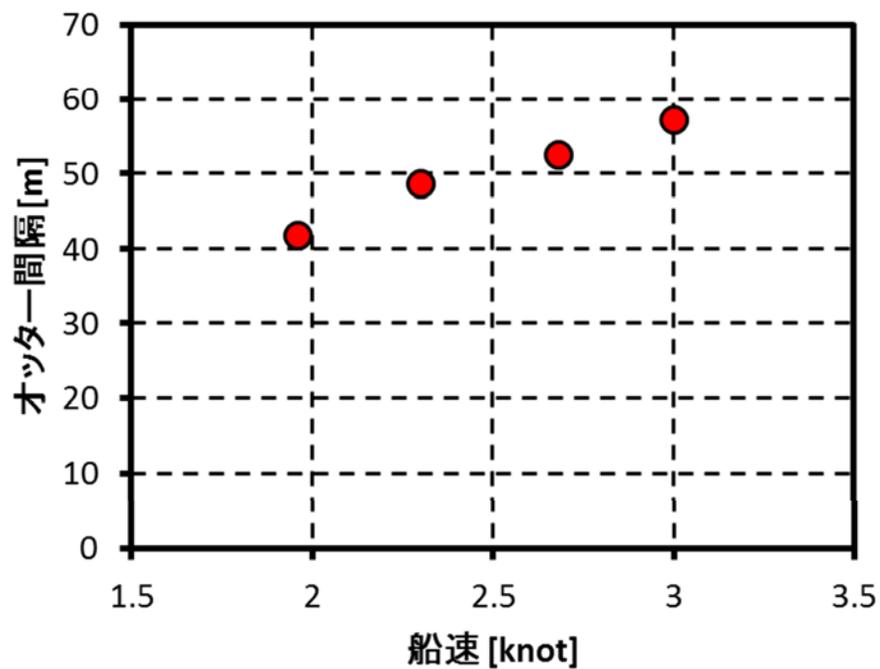
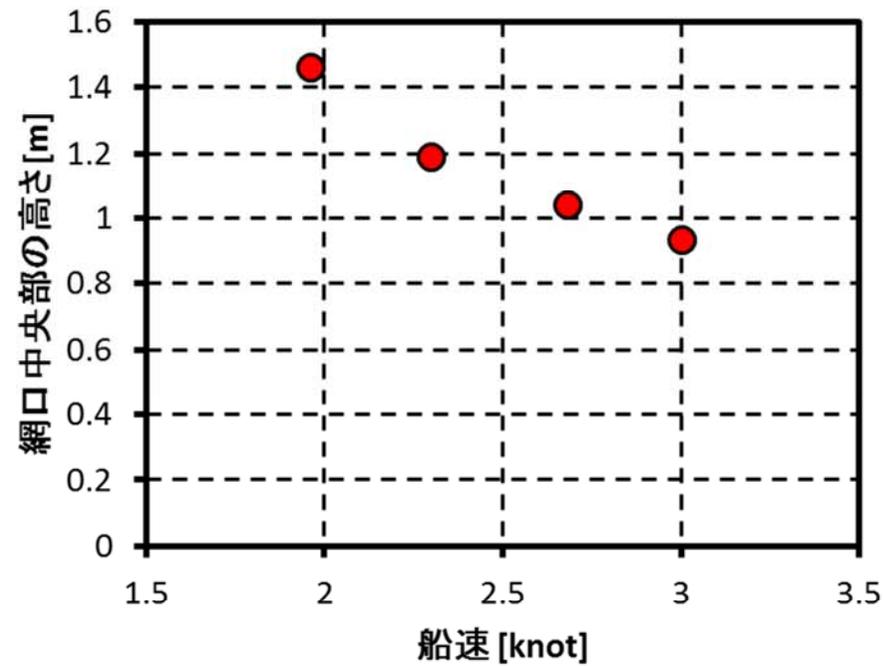
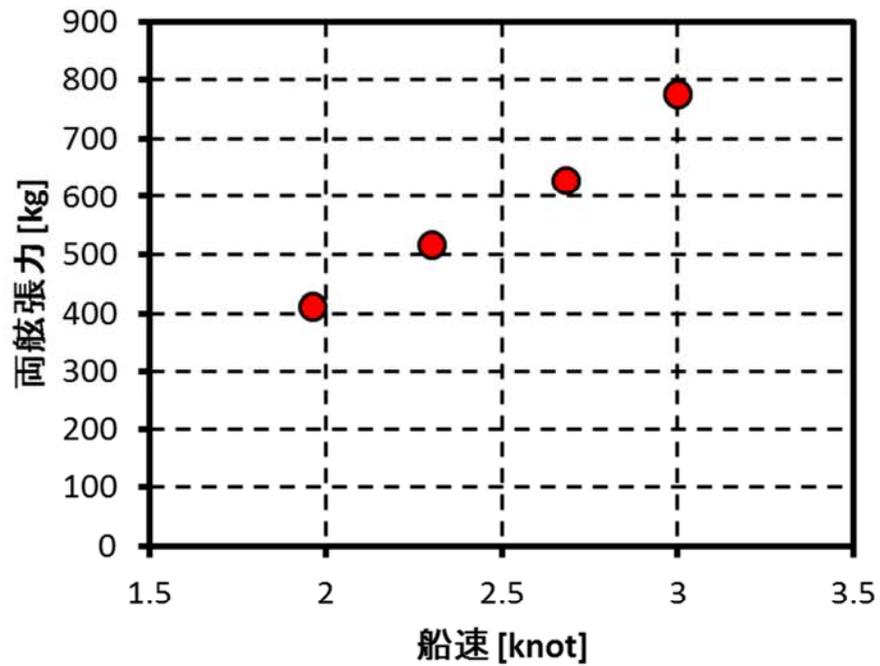
10/9
金比羅丸
2隻網
05:59-10:45



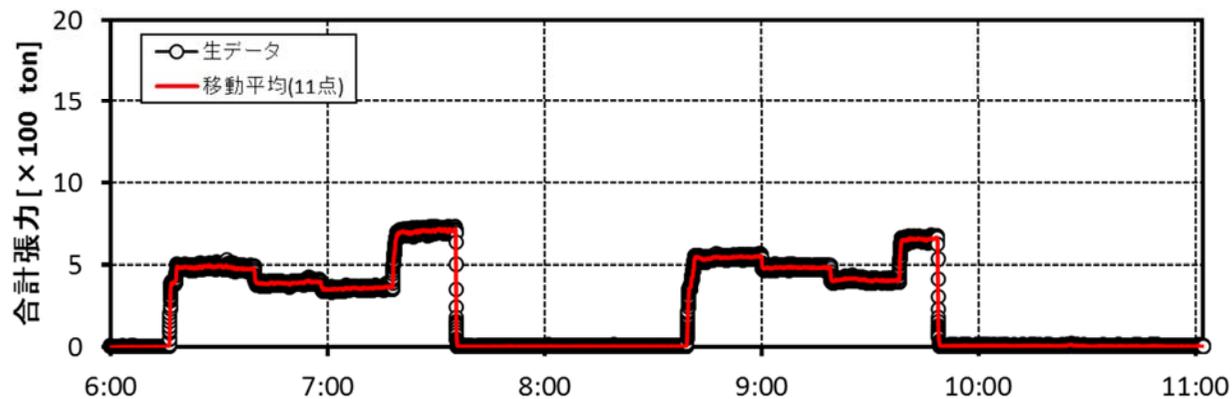
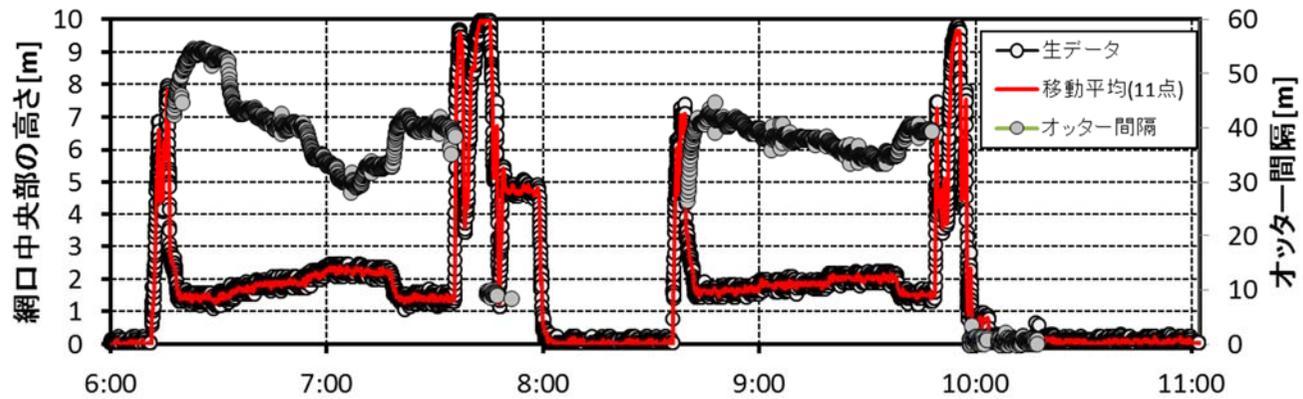
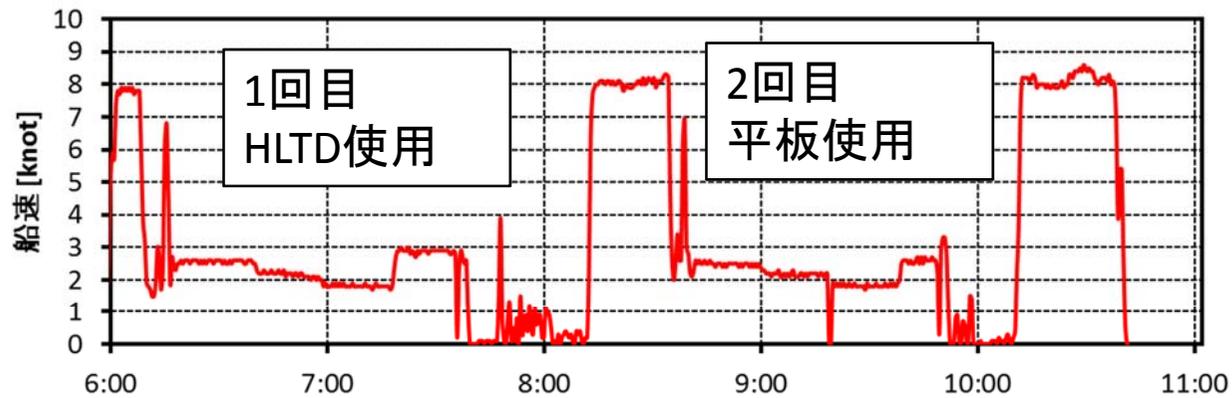


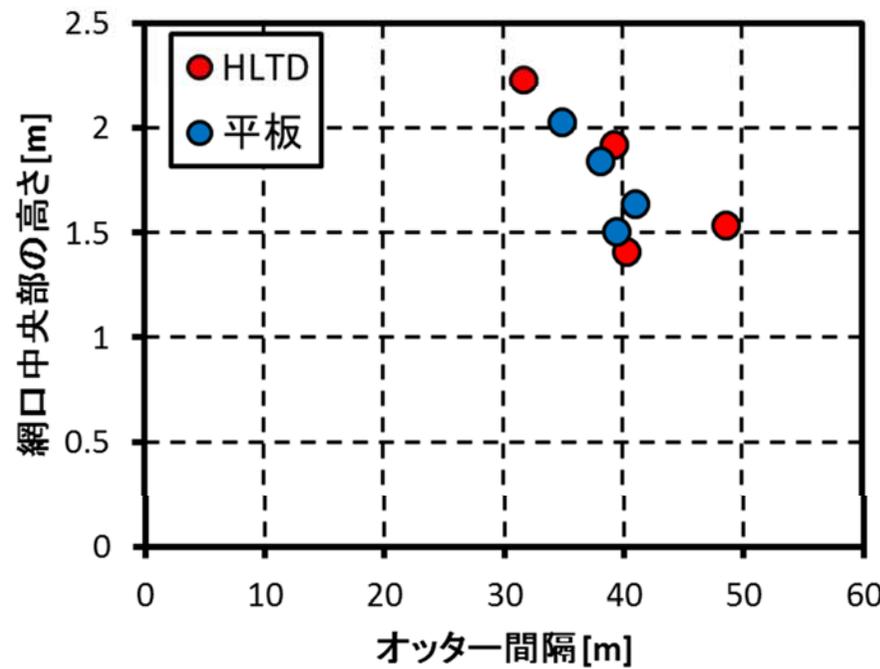
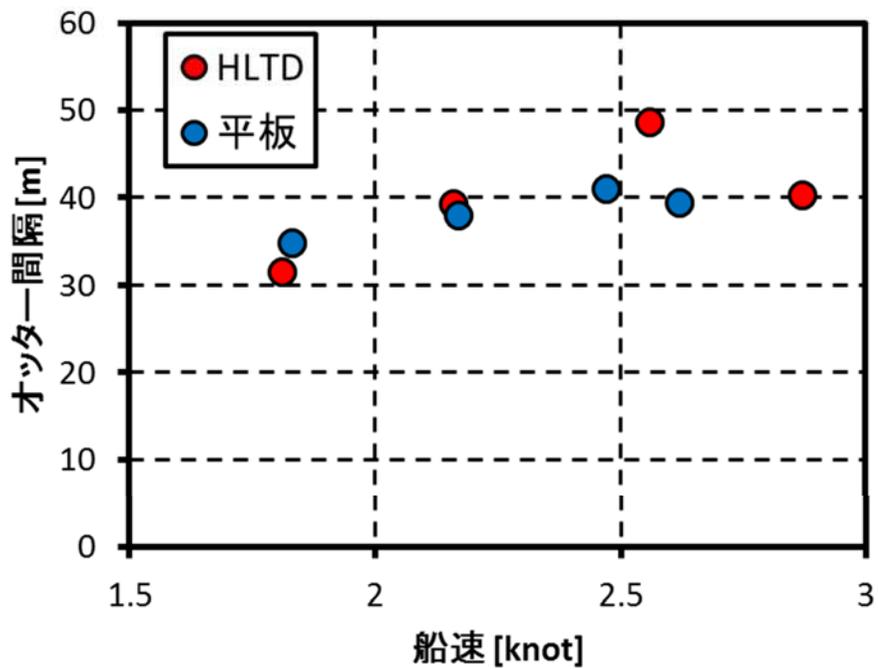
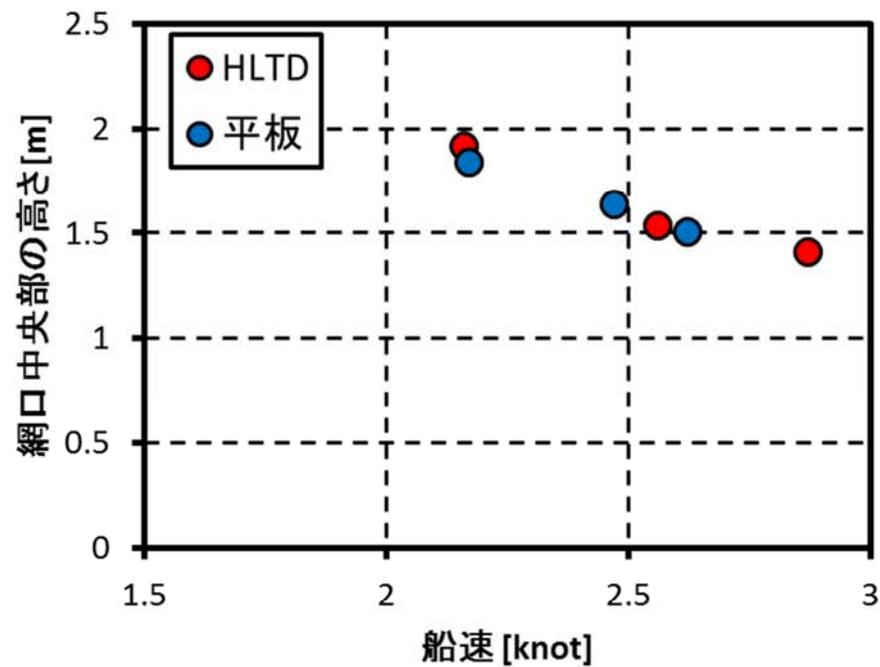
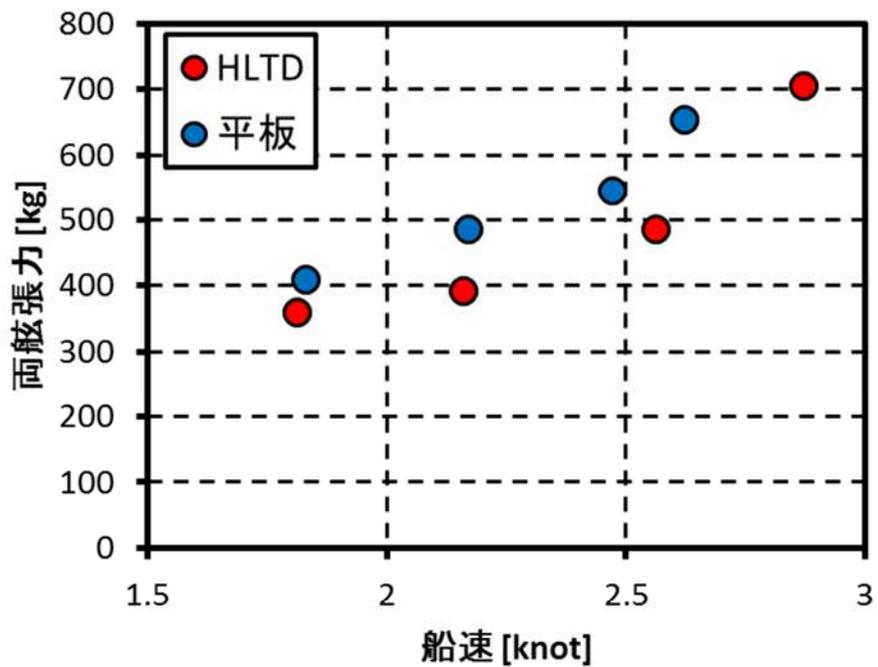
10/8 住吉丸 計測データ





10/9 金比羅丸 計測データ





徳島県便乗調査まとめ

- 高揚力オッターボード (Hyper Lift Trawl Door: HLTD) と平板オッターはほぼ同等の性能
- ただし, HLTDはやや低抵抗
- HLTDの隔網力を生かす網漁具が必要である

問題点と解決への提案

- 既に、県、漁業者、漁網会社等の連携が行われている
- 県内他地域の技術の応用の実施
- シリヤケイカの漁期に再度、計測を実施する